

令和5年8月28日

病院長 様

令和5年度 第5回、第6回 原子力災害医療中核人材研修（量研）

### 開催の御案内

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当機構の業務につきましては、日頃より格段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

令和5年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）の一環として当機構が対面形式で開催する「原子力災害医療中核人材研修（量研）」のご案内です。

本研修は、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を受けた被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える人材の養成を目的とする専門的な教育研修です。つきましては、貴院職員に、本研修の受講を推奨いたしますようお願いいたします。

敬 具

#### 【添付書類】

■令和5年度 第5回、第6回 原子力災害医療中核人材研修（量研）募集要項

#### 【問い合わせ先】

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1  
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構  
量子生命・医学部門 放射線医学研究所  
原子力防災推進部 人材育成・研修課  
Tel：043 (206) 4176  
Email：hibaku-training@qst.go.jp

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

令和5年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）

## 第5回 原子力災害医療中核人材研修（量研） 募集要項

本研修は、令和5年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）（以下、「補助金事業」という。）の一環として、量子科学技術研究開発機構（以下、「量研」という。）が対面形式で開催する「原子力災害医療中核人材研修（量研）」です。



患者受入れ実習



実習「放射線測定器の取り扱い」

現在原子力災害医療に関する研修は、基礎、専門、高度専門へとステップアップする研修体系（以下、「新研修体系」という。）のもと開催いたします。

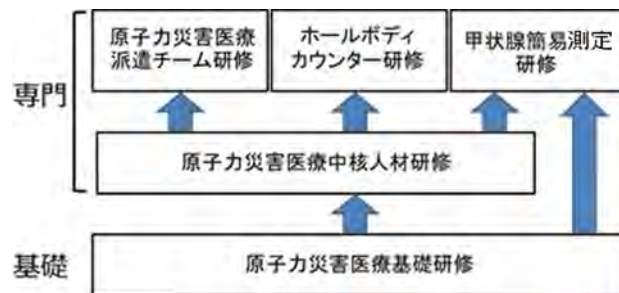


図. 新研修体系（基礎及び専門研修）

なお、新型コロナウイルス感染症拡大などの事情によっては研修の中止、中断があることもご理解のほどお願い致します。

## 1. 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることとなっており、24 時間緊急対応し、災害発生時に被災地の傷病者などの受入れを行う事が可能な体制が求められています。

本研修は原子炉施設などが立地する道府県などにおいて、原子力災害が起きた際にも医療拠点となる病院として機能できるように、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える人材の養成を目的とする専門的な教育研修です。 ※「原子力災害拠点病院」の施設要件については、「原子力災害拠点病院等の役割及び指定要件」（令和 4 年 4 月改正）を参照してください。

## 2. 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院及び原子力災害医療協力機関の医師、看護師、診療放射線技師などのうち、原子力災害医療基礎研修（令和 3 年 4 月以降開催または過去研修リスト記載の研修）もしくは令和 3 年 4 月以降の原子力災害医療中核人材研修を修了している方。

※1 原子力災害医療基礎研修の過去研修リストは、以下の URL で確認できます。

<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/48071.html>

※2 本研修の受講資格を得るために、これから原子力災害医療基礎研修を受講する方は、道府県や拠点病院などが開催する研修を 令和 5 年 10 月 1 日（日） までに受講して下さい。

道府県や拠点病院などが開催する原子力災害医療基礎研修の開催予定は、被ばく医療研修ポータルサイトで確認できます。

※3 令和 2 年度以前の原子力災害医療中核人材研修の修了は、本研修の受講資格とはなりません。

### 3. 募集人数及び研修日

募集人数 20名

令和5年10月17日(火)～10月19日(木) 原則2泊3日の宿泊研修

### 4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号(最寄り駅 JR 稲毛駅)

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 人材育成センター 研修棟

アクセス <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1315.html> (量研ホームページ)

### 5. 研修内容

別記 時間表(案)のとおり。

到達目標

- ・現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れる事ができる。
- ・原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなる事ができる。
- ・被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる。

カリキュラムの特徴

- ・複合災害、大規模災害などによる原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定。
- ・想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習。
- ・実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習。

### 6. 受講料

無料。

本研修は原子力災害時の医療体制整備に資する為、補助金事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材など養成のための教育研修と位置付けられています。

### 7. 交通費・宿泊費について

量研の旅費規程に従い交通費及び宿泊費を支給いたします。詳細については、受講決定後にお知らせいたします。

## 8. 申込要領

申込期間 令和5年8月25日（金）～ 9月14日（木）

申込方法

- ・被ばく医療研修ポータルサイトより申し込んで下さい。（「入力操作の手引き」参照）
- ・新規アカウント登録（個人情報入力）時に、「原子力災害医療に関する研修受講履歴」があれば忘れずにご記入ください。受講資格の判断材料となります。

ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



研修テキスト

- ・研修テキストは原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修の為に「原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成された標準テキストを使用します。
- ・以下の URL からファイル形式を選んでダウンロードできます。  
<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

## 9. 受講決定通知

- ・研修開始日の 2 週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させて頂く事があります。（受講決定は先着順ではありません）受講決定通知が届かない場合は問合せ先までご連絡ください。
- ・受講決定者には経費支払に関する情報及び書類、研修日程など受講に必要な諸事項を送付します。
- ・受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

## 問合せ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号  
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門  
放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課  
TEL: 043 (206) 4176  
E-mail : hibaku-training@qst.go.jp

### 個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号などの個人情報は当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制などの整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください

令和5年度 第5回 原子力災害医療中核人材研修（案）

令和5年10月17日（火）～19日（木）

1日目

開始	終了	時間	会場	タイトル
9:00	9:10	0:10	講義室2	開講式・研修生自己紹介
9:10	9:30	0:20	講義室2	プレテスト
9:30	10:00	0:30	講義室2	講義1 医療機関の原子力災害対策
10:00	10:30	0:30	講義室2	講義3 放射線障害の診断と治療
10:30	10:35	0:05		休憩
10:35	11:25	0:50	講義室2	講義4 外部被ばくと内部被ばくの線量評価
11:25	11:35	0:10		移動
11:35	12:10	0:35	線量評価棟	実習2 ホールボディカウンターによる計測
12:10	13:10	1:00		昼食
13:10	13:20	0:10		移動
13:20	15:40	2:20	実習室3	実習1 放射線測定器の取り扱い
15:40	15:50	0:10		移動・休憩
15:50	16:20	0:30	講義室2	講義5 放射線管理要員の役割
16:20	16:25	0:05	講義室2	休憩・準備
16:25	16:55	0:30	講義室2	講義7 原子力災害時のメンタルヘルス
16:55	17:25	0:30	講義室2	講義6 原子力災害事例

2日目

開始	終了	時間	会場	タイトル
8:45	9:25	0:40	講義室2	講義2 医療機関での初期対応
9:25	9:35	0:10		移動
9:35	10:15	0:40	講堂	実習4 医療施設の養生
10:15	10:55	0:40	講堂	実習3 防護装備着脱
10:55	11:00	0:05		移動
11:00	11:35	0:35	講堂	実習6 傷病者の汚染検査
11:35	11:40	0:05		移動
11:40	12:30	0:50		昼食
12:30	12:40	0:10		移動
12:40	13:15	0:35	講堂	実習5 除染
13:15	13:25	0:10		移動
13:25	14:00	0:35	REM施設	追加実習 被ばく傷病者の初期診療
14:00	14:10	0:10		移動・休憩
14:10	17:10	3:00	講義室3	机上演習
17:10	17:30	0:20	講義室3	被ばく・汚染傷病者対応 役割分担等

3日目

開始	終了	時間	会場	タイトル
8:45	8:55	0:10	講義室2	集合・移動
8:55	11:55	3:00	REM施設	実習7 被ばく・汚染傷病者対応
11:55	12:00	0:05		移動
12:00	12:20	0:20	講義室2	ポストテスト
12:20	12:50	0:30	講義室2	総合討論
12:50	13:00	0:10	講義室2	閉講式

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

令和5年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）

## 第6回 原子力災害医療中核人材研修（量研） 募集要項

本研修は、令和5年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）（以下、「補助金事業」という。）の一環として、量子科学技術研究開発機構（以下、「量研」という。）が対面形式で開催する「原子力災害医療中核人材研修（量研）」です。



患者受入れ実習



実習「放射線測定器の取り扱い」

現在原子力災害医療に関する研修は、基礎、専門、高度専門へとステップアップする研修体系（以下、「新研修体系」という。）のもと開催いたします。

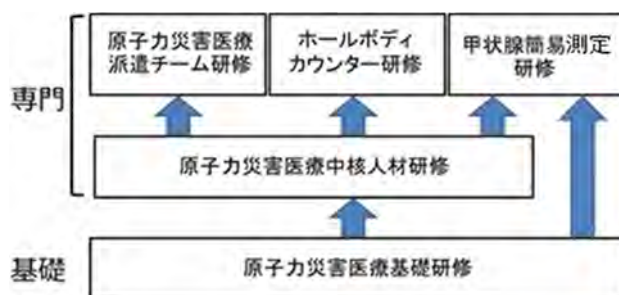


図. 新研修体系（基礎及び専門研修）

なお、新型コロナウイルス感染症拡大などの事情によっては研修の中止、中断があることもご理解のほどお願い致します。



## 1. 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることとなっており、24 時間緊急対応し、災害発生時に被災地の傷病者などの受入れを行う事が可能な体制が求められています。

本研修は原子炉施設などが立地する道府県などにおいて、原子力災害が起きた際にも医療拠点となる病院として機能できるように、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える人材の養成を目的とする専門的な教育研修です。 ※「原子力災害拠点病院」の施設要件については、「原子力災害拠点病院等の役割及び指定要件」（令和 4 年 4 月改正）を参照してください。

## 2. 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院及び原子力災害医療協力機関の医師、看護師、診療放射線技師などのうち、原子力災害医療基礎研修（令和 3 年 4 月以降開催または過去研修リスト記載の研修）もしくは令和 3 年 4 月以降の原子力災害医療中核人材研修を修了している方。

※1 原子力災害医療基礎研修の過去研修リストは、以下の URL で確認できます。

<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/48071.html>

※2 本研修の受講資格を得るために、これから原子力災害医療基礎研修を受講する方は、道府県や拠点病院などが開催する研修を 令和 5 年 12 月 28 日（木） までに受講して下さい。

道府県や拠点病院などが開催する原子力災害医療基礎研修の開催予定は、被ばく医療研修ポータルサイトで確認できます。

※3 令和 2 年度以前の原子力災害医療中核人材研修の修了は、本研修の受講資格とはなりません。

### 3. 募集人数及び研修日

募集人数 20名

令和6年1月16日(火)～1月18日(木) 原則2泊3日の宿泊研修

### 4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号(最寄り駅 JR稲毛駅)

量子科学技術研究開発部門 量子生命・医学部門 人材育成センター 研修棟

アクセス <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1315.html> (量研ホームページ)

### 5. 研修内容

別記 時間表(案)のとおり。

到達目標

- ・現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れる事ができる。
- ・原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなる事ができる。
- ・被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる。

カリキュラムの特徴

- ・複合災害、大規模災害などによる原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定。
- ・想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習。
- ・実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習。

### 6. 受講料

無料。

本研修は原子力災害時の医療体制整備に資する為、補助金事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材など養成のための教育研修と位置付けられています。

### 7. 交通費・宿泊費について

量研の旅費規程に従い交通費及び宿泊費を支給いたします。詳細については、受講決定後にお知らせいたします。

## 8. 申込要領

申込期間 令和5年9月5日(火)～11月23日(木)

申込方法

- ・被ばく医療研修ポータルサイトより申し込んで下さい。(「入力操作の手引き」参照)
- ・新規アカウント登録(個人情報入力)時に、「原子力災害医療に関する研修受講履歴」があれば忘れずにご記入ください。受講資格の判断材料となります。

ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



研修テキスト

- ・研修テキストは原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修の為に「原子力規制庁放射線対策委託費(放射線安全規制研究戦略推進事業費)放射線安全規制研究推進事業(包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究)において作成された標準テキストを使用します。
- ・以下のURLからファイル形式を選んでダウンロードできます。  
<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

## 9. 受講決定通知

- ・研修開始日の2週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させて頂く事があります。(受講決定は先着順ではありません)受講決定通知が届かない場合は問合せ先までご連絡ください。
- ・受講決定者には経費支払に関する情報及び書類、研修日程など受講に必要な諸事項を送付します。
- ・受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

## 問合せ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号  
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門  
放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課  
TEL: 043 (206) 3122  
E-mail : hibaku-training@qst.go.jp

### 個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号などの個人情報は当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制などの整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください

令和5年度 第6回 原子力災害医療中核人材研修（案）

令和6年1月16日（火）～18日（木）

1日目

開始	終了	時間	会場	タイトル
9:00	- 9:10	0:10	講義室2	開講式・研修生自己紹介
9:10	- 9:30	0:20	講義室2	プレテスト
9:30	- 10:00	0:30	講義室2	講義1 医療機関の原子力災害対策
10:00	- 10:30	0:30	講義室2	講義3 放射線障害の診断と治療
10:30	- 10:35	0:05		休憩
10:35	- 11:25	0:50	講義室2	講義4 外部被ばくと内部被ばくの線量評価
11:25	- 11:35	0:10		移動
11:35	- 12:10	0:35	線量評価棟	実習2 ホールボディカウンターによる計測
12:10	- 13:10	1:00		昼食
13:10	- 13:20	0:10		移動
13:20	- 15:40	2:20	実習室3	実習1 放射線測定器の取り扱い
15:40	- 15:50	0:10		移動・休憩
15:50	- 16:20	0:30	講義室2	講義5 放射線管理要員の役割
16:20	- 16:25	0:05	講義室2	休憩・準備
16:25	- 16:55	0:30	講義室2	講義7 原子力災害時のメンタルヘルス
16:55	- 17:25	0:30	講義室2	講義6 原子力災害事例

2日目

開始	終了	時間	会場	タイトル
8:45	- 9:25	0:40	講義室2	講義2 医療機関での初期対応
9:25	- 9:35	0:10		移動
9:35	- 10:15	0:40	講堂	実習4 医療施設の養生
10:15	- 10:55	0:40	講堂	実習3 防護装備着脱
10:55	- 11:00	0:05		移動
11:00	- 11:35	0:35	講堂	実習6 傷病者の汚染検査
11:35	- 11:40	0:05		移動
11:40	- 12:30	0:50		昼食
12:30	- 12:40	0:10		移動
12:40	- 13:15	0:35	講堂	実習5 除染
13:15	- 13:25	0:10		移動
13:25	- 14:00	0:35	REM施設	追加実習 被ばく傷病者の初期診療
14:00	- 14:10	0:10		移動・休憩
14:10	- 17:10	3:00	講義室3	机上演習
17:10	- 17:30	0:20	講義室3	被ばく・汚染傷病者対応 役割分担等

3日目

開始	終了	時間	会場	タイトル
8:45	- 8:55	0:10	講義室2	集合・移動
8:55	- 11:55	3:00	REM施設	実習7 被ばく・汚染傷病者対応
11:55	- 12:00	0:05		移動
12:00	- 12:20	0:20	講義室2	ポストテスト
12:20	- 12:50	0:30	講義室2	総合討論
12:50	- 13:00	0:10	講義室2	閉講式